

報知ボーイズリーグ



▲▲ 金メダルを下げて、現チームでの初優勝を喜ぶ八幡南の選手ら

八幡南3連覇

第20回九州選抜大会
【中学】北九州支部予選準決勝、決勝
3月30日・本城球場

春の九州王者を決める「第20回九州選抜大会（中学生の部）」北九州支部予選の準決勝と決勝が行われ、決勝で八幡南ボーイズが山口防府ボーイズを11-8で破り、3年連続優勝を飾った。九州選抜大会は今年27、28日に北九州市とその周辺で各支部代表16チームが出場して開かれる。代表2枠の北九州支部は、八幡南が3年連続6度目、山口防府が3年ぶり2度目の出場となる。

現チーム初優勝

八幡南が現チームで初優勝を飾った。決勝は二転三転の展開となったが、ナインの執念が勝り、待望の金メダルをつかんだ。

0-3の4回表に井土歩弥の適時二塁打などで5点を入れて逆転したが、その裏に5点を取られて再びリードを許した。しかし、5回表に攻め立て、再逆転に成功した。原田宗将の適時二塁打で1点を返し、その後一死二、三塁の好機で、途中出場の中原悠暉が右越えに同点の2点三塁打。さらに高橋洋人が右前適時打を放ち、これが決勝点となり、6、7回にも1点ずつ加えた。

主将の荒井航大は「西日本選抜優勝大会の決勝でサヨナラ負けしてから、自分たちで考えて野球をしよう」と話し合った。チームのみんが頑張ってくれたおかげ。感謝しかない」と笑顔で語った。

中原、井土、原田らは新2年生。捕手の中原はこれまでベンチ入りした試合が数えるほどしかなく、決勝は公式戦初マスクだった。「頭の中が真っ白になっていた」と緊張しながらも、1学年上で3番手の春本健太らを好リード。5回の同点打については「逆方向へ強い当たりを打とうと思っていた」と振り返った。

下級生の活躍は、新3年生に刺激を与えた。決勝打の高橋は「後輩が頑張っているの、このままではヤバイと思った」と、焦りを感じながらも、勝負所で結果を出して先輩の意地を見せた。

徳野晴美監督は「思い切った使った中原らが結果を出してくれ、チーム内で競争が激しくなる。3年生ももっと頑張ってもらって、チーム力の底上げに期待を込めた。」



決勝の5回、同点の2点三塁打を放つ八幡南・中原

▼準決勝

八幡南	1	0	5	0	1	1	0	8
八幡南	4	1	0	0	0	1	1	7

【南】猪口、岡田、塚本、春本
【北】中上、川崎、藤井、猪口
【南】野田(南) 中上(八)

▼決勝

八幡南	0	0	0	5	4	1	1	8
山口防府	3	0	0	5	0	0	0	1

【南】猪口、吉原、春本、猪口、中原
【防】中村、橋本、蔵成、梅地、古谷、村田、古谷、岸田
【中】原、猪口(南) 古谷(防) 井土、原田(南) 村田、藤井、藤永(防)



決勝の5回、適時打を放つ八幡南・高橋